

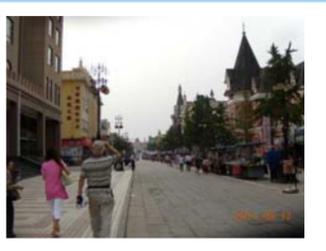
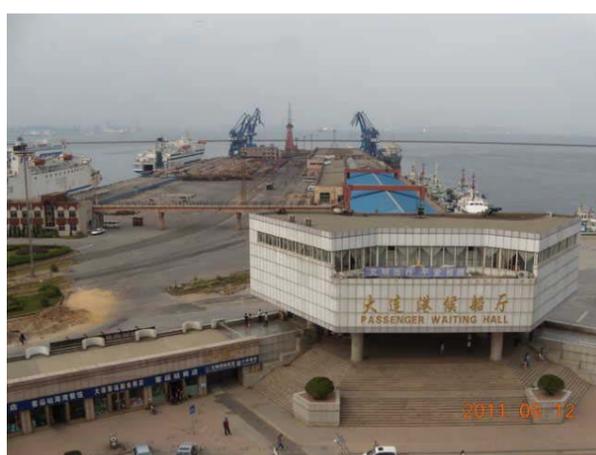
「グループ中国だい好き」2011年中国旅行

中国東北地方7日間の旅

2011年9月12日(月)～18日(日)

2011年度の中国旅行は、日本と日本人にとって、特に明治以降の近代史の歩みの中で「満州」と呼ばれて深い関わりのある、中国の東北地方の黒竜江省(ハルピン)、吉林省(長春)、遼寧省(瀋陽)の代表的な都市を訪ねる旅でした。清朝建国の礎を築いたヌルハチ、ホンタイジの王宮、瀋陽故宮博物館、旧満州国の首都(新京)はラストエンペラー溥儀の宮殿、満州国時代の遺跡、鉄道や戦争の事など。そして大連旅順はロシアとの関係も深く観光客も多く。戴いた料理もロシア、東北の田舎料理、海鮮、飲茶など多彩。今までの旅行とは違った角度で色々考えさせられた旅でした。

写真は、大連港展望台から。天津や山東半島への発着場。



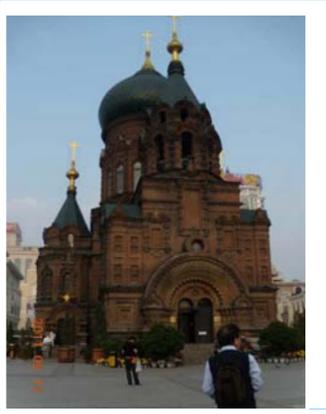
大連 旧ロシア人街を散策。中国にいるとは思えない。



大連 旧満州鉄道本社。現在は、大連鉄道局がそのまま使用。



ハルピン 日本軍特殊部隊第七三一部隊の行状を一般公開する陳列館。「マルタ」と名付けられた約3000の人体実験が――



ここが中国かと思う、歴史と広さを思う。ハルピンの欧風建築物を代表するロシア正教の聖ソフィア大聖堂。「東方のミスクワ」「東方の小パリ」など。



ハルピン 旧日本人街 味の素、明治のキャラメル、森永、弁当の看板など往時の写真沢山あり。車は左側通行。



ハルピン ロシア料理にしたつづみ、黒いのはキャビアの山盛りで日本円で2000円位。川村さんのウン十歳の生日。



ハルピン～長春 高速鉄路(新幹線)CRH和諧号。事故後なのか時速150以上は出ない運転。料金は2等車で72元(1,000位)。瀋陽を含めてホームは凸凹。



長春 旧関東軍司令部 現在中国共産党吉林省委員会。停車しての撮影禁止で車中から撮ったもの、市街にはb満州国当時の遺構がまだ各機関として使用されている。何処かのお城を。奉天は東京駅をまねて。



長春 偽満皇宮博物院。満州国皇帝に即位した愛親覚羅溥儀(清朝皇帝最後の第13代目)の宮廷府。9.18を忘れる勿れー



瀋陽 大和ホテル前から。横浜正金B/K、朝鮮B/K等毛沢東と紅衛兵の銅像。旧満州時代の建物が銀行 ホテルなどでそのまま使用されている。



大連 旅順 1904年11月 日露戦争最大の激戦地203高地から望む旅順港。入口がわずか200mの深くて静か近くには水師營会見所もある。ロシア人の観光客も多い。



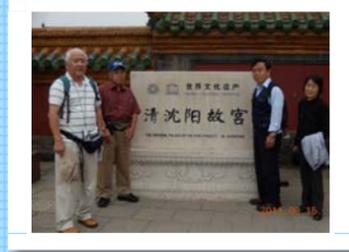
大連 レストランにある海産物の種類が豊富で値段もそこそこホタテ 蟹 ナマコなど



旧満州を駆け抜けた特急「あじあ」1934年川崎重工製造 現存2両。機関車総重量215ト、動輪3 直径2m。大連―新京(長春) 700Kを7時間半で疾走。



張さん(後ろ左から2人目)ほかスタッフ。大連で日本企業の社員や家族に中国語を教える会社を経営。張さんはかつて私たちグループの中級班の先生で今回の旅行社の紹介をお願いしました 謝謝



瀋陽故宮博物院 北京入場以前の王宮。清朝建国の礎を築いた太祖ヌルハチと清朝初代皇帝、太宗ホンタイジの宮殿。旅行参加者のみなさんお疲れ様でした。